

民児協おかやま

岡山市



第44号

平成30年4月1日



100周年記念大会 会場の様子

濟世

民生委員の委嘱を受けて30年以上が経ち、いろいろな活動をしてきましたが、永年の活動が認められたのか、平成29年春の叙勲にて「瑞宝単光章」拝受の栄に浴しまして、多くの方よりお祝いの言葉をいただき厚くお礼申し上げます。

平成29年11月9日には、県内の民生委員・児童委員をはじめ多くの方々が参加し、岡山県・岡山市民生委員児童委員制度創設100周年記念大会が開催され、先人の労苦をねぎらうとともに、今



叙勲受章の勲章と賞状

後の活動への英気を養うこととなりました。私自身にとっては、この100周年という節目の年に立ち会えたことは誇りであり、同じ年に叙勲を受章したことは何かの縁だと感じております。

今後とも、市内の福祉向上には民生委員・児童委員が欠かせない存在であるという自覚をもって、活動を行ってまいりたいと思います。

妹尾地区民児協 小銭 純宏



この広報誌は、共同募金配分金の一部をつかって作成しています。

岡山県・岡山市 民生委員制度創設 百周年記念大会



岡山市民児協会長表彰



岡山市民児協会長特別表彰



岡山県知事感謝状

十一月九日、岡山シンフォニーホールにて、県内全域の民生委員・児童委員約二千人が一堂に会して、岡山県・岡山市民生委員制度創設百周年記念大会を開催しました。

中桐泰岡山県民生委員児童委員協議会副会長による開会宣言に続き、国歌斉唱、物故者への黙祷、西崎京子岡山県民生委員児童委員協議会副会長と上平智一岡山市民生委員児童委員協議会副会長による民生委員信条朗読が行われました。

式典では、高山科子岡山県民生委員児童委員協議会会長が式辞として、創設百周年を迎えるにあたっての先人の努力と苦勞を称えるとともに、笠井信一氏の「二村その人を得るならば村は安し」という言葉や民生委員信条をもとに、今後より一層活動を充実させたいと決意を述べました。

また主催者あいさつ及び来賓祝辞では、伊原木隆太岡山県知事、繁定昭男岡山市副市長、藤目真皓全国民生委員児童委員連合会副会長、伊藤文夫岡山県協議会議長、宮武博岡山市協議会議長が、民生委員制度創設百周年に触れながら、それぞれ地域福祉における日々の民生委員・児童委員

活動への感謝や期待を述べられました。

今大会では、永年にわたり、民生委員・児童委員活動に尽くされた県内民生委員・児童委員の方々が、各種表彰を受賞しました。

表彰受賞者（順不同・敬省略）

●岡山県知事感謝状

〔在職二十年以上〕

（全十六名中岡山市受賞者六名）

甲浦地区	荒城 賢真
岡南地区	川西 一夫
妹尾地区	小銭 純宏
岡南地区	佐藤 早苗
三敷地区	田中富美子
幡多地区	長汐 良熊

●岡山市民生委員児童委員協議会会長特別表彰

〔在職二十四年以上〕

岡南地区	川西 一夫
幡多地区	長汐 良熊
岡南地区	佐藤 早苗
三敷地区	田中富美子
妹尾地区	小銭 純宏
甲浦地区	荒城 賢真

弘西地区 西川 久雄
弘西地区 岸本 俊男
弘西地区 牧 榮三朗
鹿田地区 上平 智一
可知地区 岸本ますみ
妹尾地区 吉永 珠生
芥子山地区 丸尾 嘉博
大元地区 上田井保夫
岡南地区 吉田 守
旭竜地区 平岡 準志

●岡山市民生委員児童委員協議会会長表彰
(永年勤続地区会長・副会長)

「地区副会長長期間も含め地区会長

経験年数合せて九年以上」

平井地区 那須 和夫

(永年勤続) 「在職十五年以上」

清輝地区 竹井 浩子

高松地区 秋山 博敬

旭竜地区 杉森美代子

旭竜地区 藤原 秀樹

御野地区 須々木保恵

高島地区 山中 國之

続いて、高山学岡山市民生委員児童委員協議会副会長が大会宣言を読み、満場の拍手で承認されました。

大会宣言

大正天皇陛下のお言葉を受け、住民の生活を案じた時の笠井信一岡山県知事が、民生委員制度の源となった済世顧問制度を今より百年前に創設しました。そして、最初の済世顧問となった藤井静一氏をはじめ、各地の済世顧問、済世委員の尽力により、我が国の地域福祉がはじまりました。当初は救貧を主な目的とした民生委員制度も現在、地域共生社会の実現という国の大きな制度改革の中でその役割も多様化し、重点化が図られております。

先般、七月九日には、東京で天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、志を同じくする全国の民生委員・児童委員と盛大に民生委員制度創設百周年を祝えたことは、誠に喜ばしく、また、大変心強く感じるとともにあらためてその使命を胸に刻んだところで

です。
次の百年に向けては、不安定な世情を背景に地域のつながりや連帯の危機が叫ばれるなか、子育てや介護、障がい者の自立、貧困や社会的孤立などに加え、新たな福祉課題が

表面化することも想定されます。

私たち民生委員・児童委員は、こうした様々な課題を抱える人に

対して、済世顧問制度を創設した笠井知事の「花を養う天のごとくあるべし」という高い理想を胸に一番身近な相談相手として地域の一人ひとりに寄り添いながら、その役目を遂行していかなければなりません。この固い決意のもと、岡山県内全ての民生委員・児童委員は、民生委員制度の源で地域福祉のさきがけとなった「済世顧問制度」発祥の地としての誇りを持つて次のように宣言します。

一、地域福祉のさきがけである岡山の地にこれからもその花を咲かせ続けられるよう、誰もが住みやすさを感じられる地域共生社会の推進に取り組みます。

一、民生委員信条と先人が志した済世の心を胸に、地域住民に分け隔てなく寄り添いながら、その相談に応じます。



一、地域住民同士のつながりを生かし、幅広く関係機関・団体と連携を図りながら、地域住民の笑顔あふれる地域づくりに努めます。
一、困難を抱える人たち、未来を担う子どもたちやその親たちへ、暖かなまなざしを注ぎながら、自立や介護、子育て世帯を応援します。
一、民生委員・児童委員制度の発展とともに、自らも地域社会の一員として成長していくことで、支え合いの輪を広げます。

大会宣言の後、民生委員の歌「花咲く郷土」の斉唱、アトラクションとして宮坂流津山銭太鼓保存会による宮坂流津山銭太鼓があり、最後に記念講演として、「民生委員制度創設百年を迎えてそしてこれから」と題し、ルーテル学院大学教授の市川一弘さんに、これから求められる民生委員・児童委員の役割についてお話ししていただきました。



みんなのコンサート



岡山県立高松農業高校 郷土芸能部



岡山フィルハーモニック管弦楽団の演奏(上)、音楽的道化師みま(右)



一月八日、岡山市民会館にて、「みんなのコンサート」(民生委員制度創設百周年事業)を開催しました。

このコンサートは、岡山市民生委員児童委員協議会で、民生委員制度創設百周年事業の企画を検討している際に、「日ごろから民生委員・児童委員活動でお世話になっている福祉施設や、関わりのある方々を招待して、制度創設百周年を祝い、みんなで楽しめるイベントをしたい」という民生委員・児童委員の声があり、百周年という節目の年に様々な方が参加できる企画をということで、誰もが気軽にたのしめる音楽イベントを実施しました。

当日は少雨というあいにくの天候になりましたが、福祉施設利用者の方々、多数の一般応募の方々など、市内の民生委員・児童委員をあわせて千五百人の参加となりました。

岸本俊男岡山市民生委員児童委員協議会会長のあいさつに続き、来賓として、大森雅夫岡山市長と内田通子岡山市社会福祉協議会会長にごあいさつをいただきました。

式典に続き最初に登場していた

だったのは、「岡山県立高松農業高校 郷土芸能部 最上太鼓」のみならず。創部三十年であり、地元の伝統行事の宗治祭、最上稲荷夏季大祭等、年間十数回の演奏活動を行ってあります。当日は三年生が引退した後の新体制での最初の演奏になりましたが、太鼓の迫力や一糸乱れぬ演奏の所作に参加者は圧倒されるとともに、郷土芸能に携わりながら、地元で活躍する高校生の姿に、参加者は胸を打たれました。

次に登場していただいたのは、「音楽的道化師みま」さん。自称「オペラ座の道化師」であり、アコーディオンでの弾き語りや類いまれなる歌唱力で国内のみならず海外の劇場でも公演をしているアーティストです。当日は、岡山フィルハーモニック管弦楽団の演奏とともに、情熱的なカルメンや、トウーランドットより「誰も寝てはならぬ」といった情緒的な曲など、様々な歌で会場を沸かせました。なかでも、参加者を巻き込み一緒に演奏を行った際には、子どもたちに笑顔が溢れ、会場が温かい雰囲気になりました。

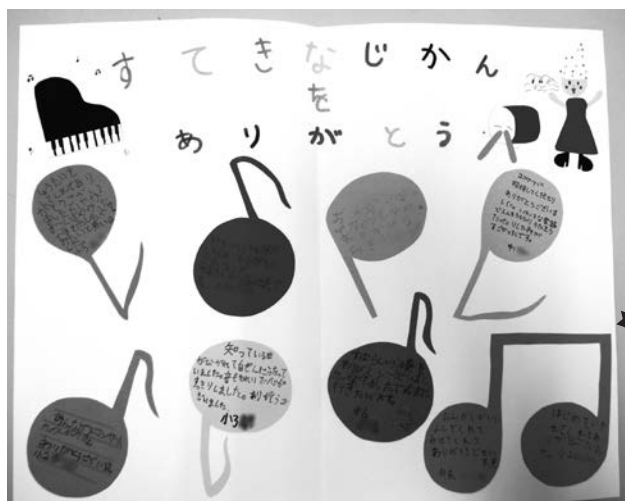
最後に登場していただいたのは、「岡山フィルハーモニック管弦楽団」のみなさんです。岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で一九九二年に創設された岡山初のプロオーケストラです。創設以来、著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、青少年の情操教育に資する事業や子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、年間百回の公演を行っています。当日は、指揮に山上純司さんを迎え、迫力満点の「キャンディード序曲」にはじまり、軽快な曲調の管弦楽曲であるルロイ・アンダーソンの「舞踏会の美女」や、映画で有名な交響組曲「ハリーポッターと賢者の石」など、フルオーケストラによる圧倒的かつ気品のある楽曲の音色に、参加者は魅了されました。アンコールでは、音楽的道化師みまさんが再登場し、映画「となりのトトロ」の「さんぽ」を演奏していただき、楽しい時間の締めくくりとなりました。

参加者の方々へのアンケートでは、「高松農業高校のみなさんの力たぎる太鼓の演奏に感動をいただきました」「音楽的道化師みまさんに心から笑わせてもらった」「岡フィルのフルオーケストラはさすがの一言」など演奏に関しての感想や、「子どもなどいろいろな方が参加できるコンサートはとてもいいと思う」「記念事業としてふさわしいものであり、明日からの活力になった」などの企画に対しての感想もいただきました。

また、参加していただいた福祉施設の職員の方々や、子どもたちからお礼の作品をいただきました。感想を書いた画用紙等をデザインしており、とてもかわいらしい仕上がりになっています。

今回のコンサートを機に、民生委員・児童委員について多くの方々に知っていただけたと同時に、今後の民生委員・児童委員活動へのつながりができたのではないかと感じています。

参加していただいた
福祉施設の子どもたちから
お礼状をいただきました！



福祉区民児協の紹介



北区中央福祉区

北区中央福祉区民児協

会長 上平 智一

民生委員制度は、大正六年、岡山県で創設された済世顧問制度にはじまり、戦後、民生委員制度と名称があらためられ、昨年の平成二十九年に百周年を迎えるところとなりました。

百年を経ての今日では、急速に進む少子・高齢化や地域社会の変化の中にあつて、様々な課題が顕在化し、深刻化しています。また、相次ぐ大規模災害の被災地にあつては、今も多くの人々が厳しい状況に置かれています。様々な課題を抱える方々を支え、地域の課題を解決していくために、地域住民自らが積極的に参加し、支え合う「地域共生社会」の実現が目指され、私たちにも大きな期待が寄せられています。

そのような中で、私たちが百年にわたって連綿と導いて「紡ぎゆく百年」をつないでいただいた民生委員・児童委員の先輩諸兄・諸姉に應える

べく、先人が志した済世の心を胸に、跡を慕わせていただけることを誇りに思い、次の百年に向けて、「地域・まちの福祉を担うボランティア」として、地域住民に寄り添いながら、「見守り・支援体制の強化」に向けた福祉活動を、北区中央福祉区民児協の委員で志しています。

また、毎年委員の有志が集まりグラウンドゴルフを行い、委員間の健康維持と親睦を深めております。昨年は六月十五日に岡山ドームにて十一回目を行いました。岡山市北区中央保健センター・岡山市保健所健康づくり課の指導による「岡山市民体操」で準備体操と研修を兼ね、関係各所との交流を図り、絆の輪として連携を深めています。

六月二十七日には、勤労者福祉センターで北区中央福祉事務所長をはじめ、管内十八地区の会長、民生委員・児童委員の参集のもと、総会を開催しました。総会では、研修として、「自殺予防に関する内容」に関

して、講師に岡山市こころの健康センター係長・作野祐子氏をお迎えして貴重なお話をいただきました。近所の人を信頼できない高齢者は、信頼できるという高齢者よりも自殺願望を抱く割合が二倍以上高いということを学びました。高齢者の自殺を防ぐため、市町村は住民とともに声をかけを強化するなど、地域活動への参加を働きかけ、民生委員・児童委員として何ができるか、何に取り組みさせていただくのがいいのか、常に地域住民の身近な相談相手、見守り役を通して、地域社会での孤立・孤独をなくす行動へ努めたいとあらためて思いました。

冬が駆け足で近づいてくる気配を感じた十一月二十八日には、神戸市の「阪神淡路大震災人と防災未来センター」へバス二台で視察研修に赴き、研鑽を深めました。平成二十三年三月十一日、東日本大震災が発生し、被災地では民生委員・児童委員が住民の支援に奔走しました。その中で、強い使命感をもって活動していた五十六名もの民生委員・児童委員が犠牲となりました。このことは、全民児連も指針を示し

たように、発生時には民生委員・児童委員であつても自身の安全確保がまず大切であることを示していると思われました。百周年という大きな節目にあたり、各民児協において、これまでの活動を振り返り、新たな時代に向けた活動のあり様を考えていくうえで、今回の研修の場は大きな成果を得ることができました。

北区中央福祉区の主任児童委員部・地域福祉推進部の委員は、それぞれの立場で活動及び研鑽を深め、時代にさきがけ、折々の福祉課題の解決に自ら取り組んでおります。このことに感謝を申し上げ、北区中央福祉区民生委員児童委員協議会の取り組みのご報告とさせていただきます。



東区福祉区

東区福祉区民児協

会長 松井 義孝

昨年は、民生委員制度創設百周年を記念し数々の記念行事に取り組むことで、あらためて民生委員・児童委員としての活動について再認識する一年となりました。

昨今では、急速に進む少子・高齢化や地域社会の変化など問題が多岐にわたり、山積した課題の解消のため、民生委員児童委員の果たす役割が益々重くなっています。

東区福祉区民児協は、十五の単位民児協で構成されており平成二十五年十二月に発足して四年が経過し、活動内容も体制も整いつつあります。事務局事務は、岡山市社会福祉協議会に委託しており非常に有難く助かっています。

さて、東区民児協の活動は、常任理事会で原案を作成し、その内容について役員会を開催し検討して実施するようにしています。

また、地域福祉推進部、

主任児童委員部の部会もそれぞれ役員会を開催し、活動を行っています。

地域福祉活動の推進に求められる知識や技術を習得し、民生委員・児童

委員活動を活性化させるため、「高齢者関係」や「子ども関係」等の課題について勉強する全員研修会を開催しており、昨年十月に全員研修会を開催しました。「子どもの貧困について知る」をテーマに川崎医療福祉大学医療福祉学科講師直島克樹先生にご講演いただき、「ハーモニーネット未来」理事長の宇野均恵様には活動発表をしていただきました。

現在、子どもの七人に一人が貧困と言われています。親の経済的困難さ等が、子どもの様々な「困りごと」としてあらわれてくることや「困った親」は「困っている親」等、多くの委員が身近に感じていなかった「子どもの貧困」についての現状を



知ること、今後の活動に大変参考になる研修会となりました。

地域福祉推進部では、倉敷市の小規模多機能型居宅介護・グループホームぶどうの家に視察研修に行き、地域の現状や意見を把握し、新たなサービスを創設され活動をしている事が印象に残りました。

また、「各行政関係機関の役割と最近の課題について」の研修や、「在宅での高齢者と民生委員の関わり」と題して、東区地域包括支援センターより東区の現状を説明していただき、グループに分かれて事例検討を行い、活発な意見交換を行いました。

主任児童委員部では、「発達障害について」、「発達障害者支援センターの業務内容について」の学習会や、西大寺さいさい食堂（こども食堂）の方から子どもの貧困について講演いただきました。また、中区主任児童委員部との合同視察研修で

は、岡山県立岡山瀬戸高等支援学校にて学校の取り組みについての講話を聞き、実際に見学をすることでどのような学校生活を送っているのかを知ることができました。

全員研修会や、それぞれの部会が研修、情報交換を行うことで、地域での民生委員・児童委員としての活動の充実を図っています。

これからの民生委員・児童委員活動に関するスローガンの『支えあう住みよい社会 地域から』を実践し、今後とも、各種関係機関及び全委員のご理解とご支援を頂き地域住民にとって、身近な存在となるような民生委員・児童委員活動を推進します。



わたしの趣味

～獅子舞～

清輝地区民児協 岩藤 清衛



「備前岡山獅子舞太鼓唄保存会」の一員として活動しています。
この獅子舞太鼓唄は、岡山市の指定重要無形民俗文化財第一号に指定されています。

◆委員より◆ 「わたしの趣味」を募集します。写真・絵・工芸・俳句・川柳など自薦他薦は問いません。

事務局までご連絡ください。

事務局（福祉援護課内） ☎086-803-1218

編集後記

民児協おかやま四十四号をお届けします。

本号は盛大に行われた百周年の会場の様子を表紙にかかげました。

内容は、百周年記念事業として開催した記念大会とみんなのコンサートに加え、各福祉区の取り組みをあわせた誌面となりました。

これからもみなさまのお役にたつ誌面になるよう、広報委員会一同がんばりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

丸尾 嘉博 記

